

# くすりのしおり

内服剤

2019年11月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

## 商品名：トランコロン錠 7.5mg

**主成分：**メペンゾラート臭化物 (Mepenzolate bromide)

**剤形：**淡紅白色の錠剤、直径約 6.1mm、厚さ約 2.9mm

**シート記載：**（表）トランコロン、7.5mg、社マーク、f434、アステラス製薬、トランコロン 7.5mg、（裏）トランコロン、7.5mg、f434、社マーク、メペンゾラート臭化物 (Mepenzolate bromide)、アステラス製薬、Trancolon



## この薬の作用と効果について

腸管神経に作用し腸の異常な運動を抑える薬です。

通常、過敏大腸症（イリタブルコロン：腹痛、下痢・便秘をくりかえす）の治療に用いられます。

## 次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。閉塞隅角緑内障、前立腺肥大による排尿障害がある、心疾患、腸が麻痺して便秘が続いている。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

## 用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、成人は1回2錠（主成分として15mg）を1日3回服用します。年齢・症状により適宜増減されます。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・飲み忘れた場合は、気がついた時、できるだけ早く1回分を飲んでください。ただし、次の通常飲む時間が近い場合は1回とばして、次の通常の服用時間に1回分を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

## 生活上の注意

- ・視調節障害（まぶしい、物が見えにくい）があらわれることがありますので、車の運転など危険を伴う機械の操作には注意してください。

## この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、視調節障害、口渇、便秘、吐き気・嘔吐、食欲不振、排尿障害、めまい、頭痛・頭重、発疹などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[ ]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

該当する記載事項はありません。

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

## 保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。

## 医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。